

Kuradashi

「ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を活用した食品ロス削減と社会貢献」

● クラダシのサービス

楽しいお買い物で、
みんなトクする
ソーシャルグッドマーケット

Kuradashi

フードロス削減を目指し、まだ食べられるにも関わらず捨てられてしまう可能性のある商品を、おトクに販売しています。

さらに、売上の一部を環境保護・災害支援などに取り組む様々な団体に寄付し、SDGs17の項目を横断して支援しています。



● 自己紹介

▼名前

荒 正明 (あら まさあき)

▼出身

青森県むつ市

▼経歴

- ・ 写真業界 (EC) で営業兼カメラマン
- ・ SNSマーケティングで各事業者様の支援
- ・ HR業界にて採用支援の営業
- ・ クラダシにてMD (仕入れ担当)



会社概要

会社名	株式会社クラダシ
設立	2014年07月07日
所在地	141-0021 東京都品川区上大崎3-2-1 目黒センタービル 5F
経営陣	関藤 竜也 代表取締役社長 河村 晃平 取締役執行役員CEO 高杉 慧 取締役執行役員CFO 徳山 耕平 取締役執行役員CHRO 城前 圭毅 CTO
従業員	59名 (アルバイト他含む)

Mission

ソーシャルグッドカンパニー でありつづける

もったいないを価値へ～凸と凹をマッチングすることで世界を豊かにする。世の中に山積する社会課題解決を目的に設立したソーシャルグッドカンパニー。社会性、環境性、経済性に優れた活動をしていきます。

Vision

日本で最もフードロスを削減する会社

国内消費食料の約6割を輸入しているにも関わらず、世界有数のフードロス大国である日本は、「3分の1ルール」などの商慣習のために、その多くを無駄にしているのです。私たちクラダシは1.5次流通革命を通じて、日本のフードロスを削減します。

● 社長関藤の原体験



阪神淡路大震災で感じた無力感

1995年1月17日、大阪で被災。しばらくして入ってきたTVの映像では、阪神高速道路がなぎ倒されていた。自分より困っている人を助けに行こう。気がつけば私は、バックパックに救援物資になりえるものを詰め、現地へ向かっていた。日没で帰路につくころ、目の前で多くの人々が苦しんでいるというのに、一人の力の及ぼせる限界、無力感のようなものを感じた。社会人になったら困った人を助けられる持続可能な仕組みを創ろう。漠然とながらそう思った。

世界の工場「中国」で感じた危機感

商社マン時代の1998～2000年にかけて中国で勤務しました。“世界の工場”といわれていた時代です。世界からより商材を安く大量に輸入し、安い労働賃金で大量に加工・製造させ、大量に輸出。made in chinaを大量に生み出す。同時に、本来食べられるのに形の不揃い等により大量に廃棄に至る食品を沢山見てきた。大量に捕獲・収穫、流通、廃棄を繰り返していると、資源はいずれ枯渇する。これはいつか必ず環境面で大きな社会問題になると実感した。同時にMDGs（2000年～2015年）を知った。社会風潮は一人の力ではつukれない。ビジネスにはタイミングと勢いも大切な要素。時がきたらビジネスの力で課題解決しよう。そう思った。

持続可能な社会を実現するには**楽しく気軽に取り組める仕組みが必要！**

会社概要

2018年

- ・東京都環境局「チームもったいない」の「Saving Food」部門代表に抜擢
- ・環境省主催「第6回グッドライフアワード」環境大臣賞

2019年

- ・品川区「社会貢献製品支援事業」選定・認定

2020年

- ・第7回「食品産業もったいない大賞」審査委員会委員長賞
- ・「環境白書」「消費者白書」に掲載
- ・第3回「日本サービス大賞」農林水産大臣賞
- ・「気候変動アクション環境大臣表彰」
- ・第21回「グリーン購入大賞」農林水産大臣賞
- ・第55回「社会貢献者表彰」
- ・「食品ロス削減推進大賞」消費者庁長官賞

2021年

- ・「Japan Venture Awards 2021」JVA審査委員会特別賞
- ・「High-Growth Companies Asia-Pacific 2021」ランクイン
- ・東洋経済「すごいベンチャー100」選出
- ・「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2021 ジャパン」関東地区代表選出

2022年

- ・「第6回食育活動表彰」消費・安全局長賞
- ・「令和4年度食品ロス削減推進表彰」「環境大臣賞」
- ・「第31回食品安全安心環境貢献賞」

食流機構 | 公益財団法人
食品等流通合
理化促進機構



EY Entrepreneur
Of The Year™



● B Corp 認証

クラダシは B Corp 認証を取得しています。



B Corp 認証は、環境や社会へのパフォーマンス、透明性、説明責任、持続可能性において優れた企業に与えられる認証制度。米国の非営利団体 B Lab が運営し、厳しい評価基準を満たしている企業のみが認証を取ることができる。クラダシは、日本で13番目に同認証を取得。

● 自治体との連携

自治体のフードロスを削減するため、連携協定を締結し出口戦略を担う

- ・令和元年「食品ロス削減推進法」施行
- ・令和 2 年 各自治体調査開始 / 「環境白書」に横浜市との連携内容が掲載
- ・令和 3 年「食品ロス削減推進法」の素案作成
- ・令和 4 年「食品ロス削減推進法」計画を発表



【連携自治体】

大阪府/ 茨城県/ 香川県 / 新潟県 / 東京都大田区
 新潟県新潟市 / 神奈川県横浜市/ 長野県松本市 など
 20以上の自治体

【連携省庁】

農林水産省
 環境省
 消費者庁

【連携協定締結商工会議所】

東京商工会議所
 大垣商工会議所

● 省庁・自治体との連携

自治体のフードロスを削減するため、連携協定を締結し出口戦略を担う

連携協定締結自治体

- 大阪府
- 香川県
- 茨城県
- 新潟県
- 鹿児島県
- 東京都大田区
- 北海道三笠市
- 千葉県千葉市
- 神奈川県横浜市
- 新潟県新潟市
- 群馬県富岡市
- 鹿児島県西之表市
- 静岡県静岡市
- 徳島県徳島市
- 長野県松本市
- 京都府京丹後市
- 大阪府茨木市
- 愛媛県八幡浜市
- 大阪府豊中市
- 沖縄県石垣市
- 京都府京丹波町
- 北海道仁木町
- 青森県南部町
- 和歌山県すさみ町
- 香川県小豆島町
- 三重県御浜町
- 高知県北川村

パートナー・認定企業 連携協定締結商工会議所

- 埼玉県さいたま市
- 東京都品川区
- 愛知県豊田市
- 東京商工会議所
- 大垣商工会議所



● クラダシ支援総額

Kuradashi 支援総額

9,836 万円

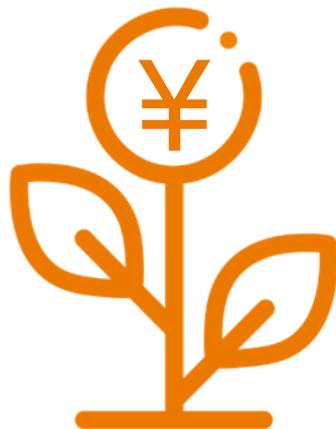
(2023年01月31日時点)

社会性、環境性、経済性を同時に実現しつつ、
社会貢献活動にコミットします

	単位：万円
環境保護支援団体	643
海外支援団体	972
社会福祉支援団体	1,113
災害対策支援団体	490
医療支援団体	1,502
動物保護支援団体	858
地方創生支援	3,975
フードバンク支援	280

● クラダシ基金

地域経済の活性化と社会発展に寄与するために
設立された支援金制度「クラダシ基金」



地方創生事業・フードバンク支援事業・教育事業・
食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に充てられます。

社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」



背景・目的

高齢化や人手不足による未収穫ロスの削減

関係人口の増加・地域活性

フードロスや社会課題に興味関心の高い学生に実体験を通しての学びの場の提供

地方創生やフードロス問題に興味がある学生が、人手不足に悩む地方農家での農作業支援や首長をはじめとして自治体関係者との意見交換を通し、地域課題やフードロスなどの社会課題について考える。

内容

参加学生の旅費・交通費や現地での食費、滞在費をクラダシ基金から拠出。

実績

北海道から沖縄まで全国で計20回実施のべ100名以上の学生を派遣

● クラダシチャレンジの実施

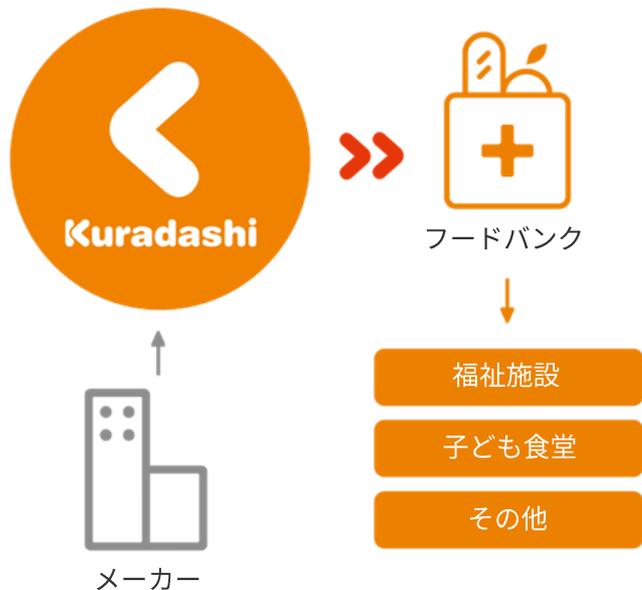
一次産業の活性化および地域の魅力発信

具体事例 >>>

- 高齢化や人手不足による未収穫ロスの削減
- 特産品、名産品の支援を通じた地域産業の支援
- 関係人口の増加・地域活性
- 若年層によるSNS発信



フードバンク支援事業



背景・目的

「公平性」「安全性」「安定性」の3つの課題がある。

公平性→特定の団体への寄付が偏り各団体の公平性が担保されない。

安全性→団体によって規模や設備が異なり、提供後の食の安全性が担保されない。

安定性→安定的な食品の確保が難しく、安定性が担保されない。

内容

食品を必要としているフードバンク団体と寄贈したい事業者をマッチングする。

実績

のべ20企業・自治体の商品をのべ110団体に寄贈。

SDGs 教育事業

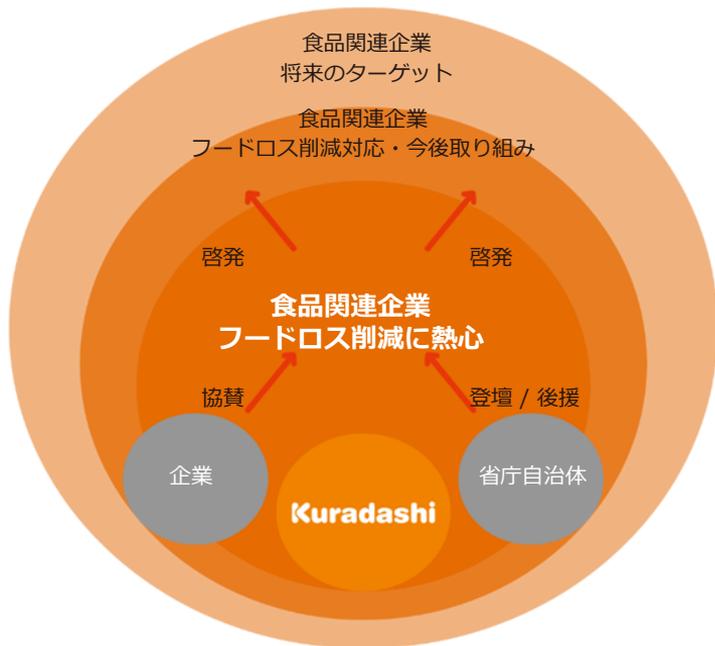


背景・目的 将来、社会を創る世代への SDGs 教育を通じて、
ソーシャルグッドの輪を広げる。

内容 大学生向け特別講座実施中学・高校生向け
フードロス課題やキャリアについての特別授業

実績 大学：累計 延べ 6 校（2022 年 6 月末時点）
中学校・高校：累計延べ 6 校（2022 年 6 月末時点）

食のサステナビリティ研究会



背景・目的 フードロス問題を始め、気候変動、パーム油etc.
1社では解決の難しい、食のサステナビリティ課題について、協働して解決に取り組む。

内容 フードロス削減を軸に、世界の、日本の人々が、将来にわたって、健康でおいしい食にアクセスできるように、食品関連企業への情報の収集や発信、交流機会の提供を行う。

実績 2022年より活動開始

フードロスの問題

● SDGsとフードロス問題

SDGs の目標 12「つくる責任 つかう責任」では
「2030年までにフードロス半減」が明文化されている。



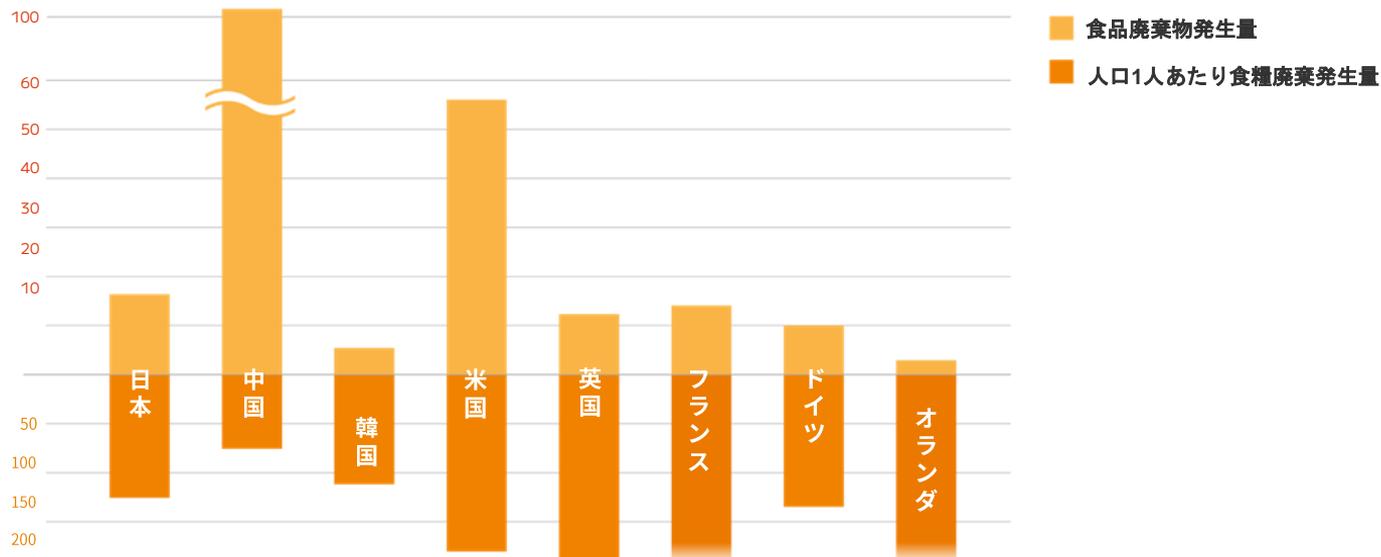
“

2030年までに、小売・消費レベルで廃棄される食料（一人当たりの量）を半分に減らす。また、収穫後、生産・サプライチェーンにおける食品の損失を減らす。

● 世界のフードロス問題

実は日本は、人口1人当たりの食品廃棄物発生量が
世界で **6** 位 / アジアワースト **1** 位

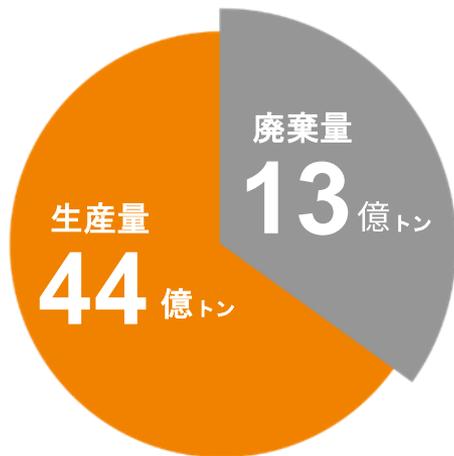
食品廃棄物発生量の主要国比較



出典：農林水産省 HP「海外における食品廃棄物等の発生状況及び再生利用等実施状況調査」 ((公財)流通経済研究所) を加工して作成

● 世界のフードロス問題

世界では生産される食糧の
1/3 が廃棄



廃棄される13億トンは

世界の温室効果ガス排出量の
8~10% を占める



農業による世界の水使用量の
1/4 を消費



● 日本のフードロス問題

日本では年間**522万トン**のフードロスが発生している。



日本の食品ロス
522 万トン/年

お茶碗（毎日）
約1億 3000 万人分

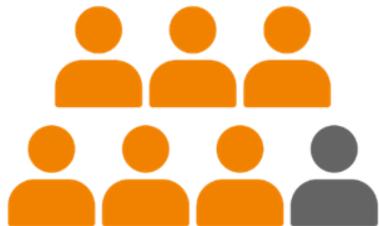
* 農林水産省 22 年 6 月発表時点

● 日本の社会問題

大量のフードロスが起きている一方で、
高い貧困率と低い食糧自給率というアンバランスな状況。

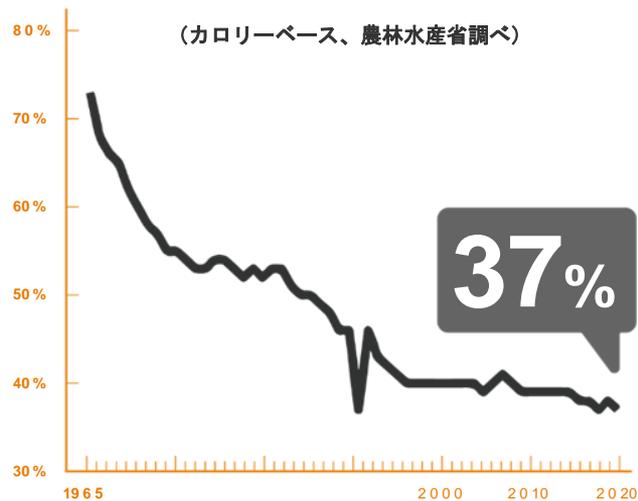
日本の子どもの貧困率

日本の子どもの
7人に1人が
貧困状態です。



日本の食糧自給率

(カロリーベース、農林水産省調べ)



● メーカーの問題

ブランド価値を守るため、日本の商習慣のため
廃棄が起きている。



● 廃棄の理由



規格外

商品の割れ、少しの傷、パッケージの汚れ、サイズ違い... 味や品質には全く問題がないにも関わらず、規格から外れたことで販売されずに廃棄される商品が沢山あります。



3分の1ルール

「3分の1ルール」とは、製造日から賞味期限までを3等分し、納品・販売期限を設ける商習慣。製造から最初の3分の1を超えると賞味期限がまだまだ残っていても廃棄される可能性があるのです。



季節商品

恵方巻やクリスマスケーキ、桜や紅葉など四季折々のパッケージ。楽しくて華やかなイベントも、終わると同時に行き場を失ってしまう商品も少なくありません。

● クラダシのサービス

楽しいお買い物で、
みんなトクする
ソーシャルグッドマーケット

Kuradashi

フードロス削減を目指し、まだ食べられるにも関わらず捨てられてしまう可能性のある商品を、おトクに販売しています。

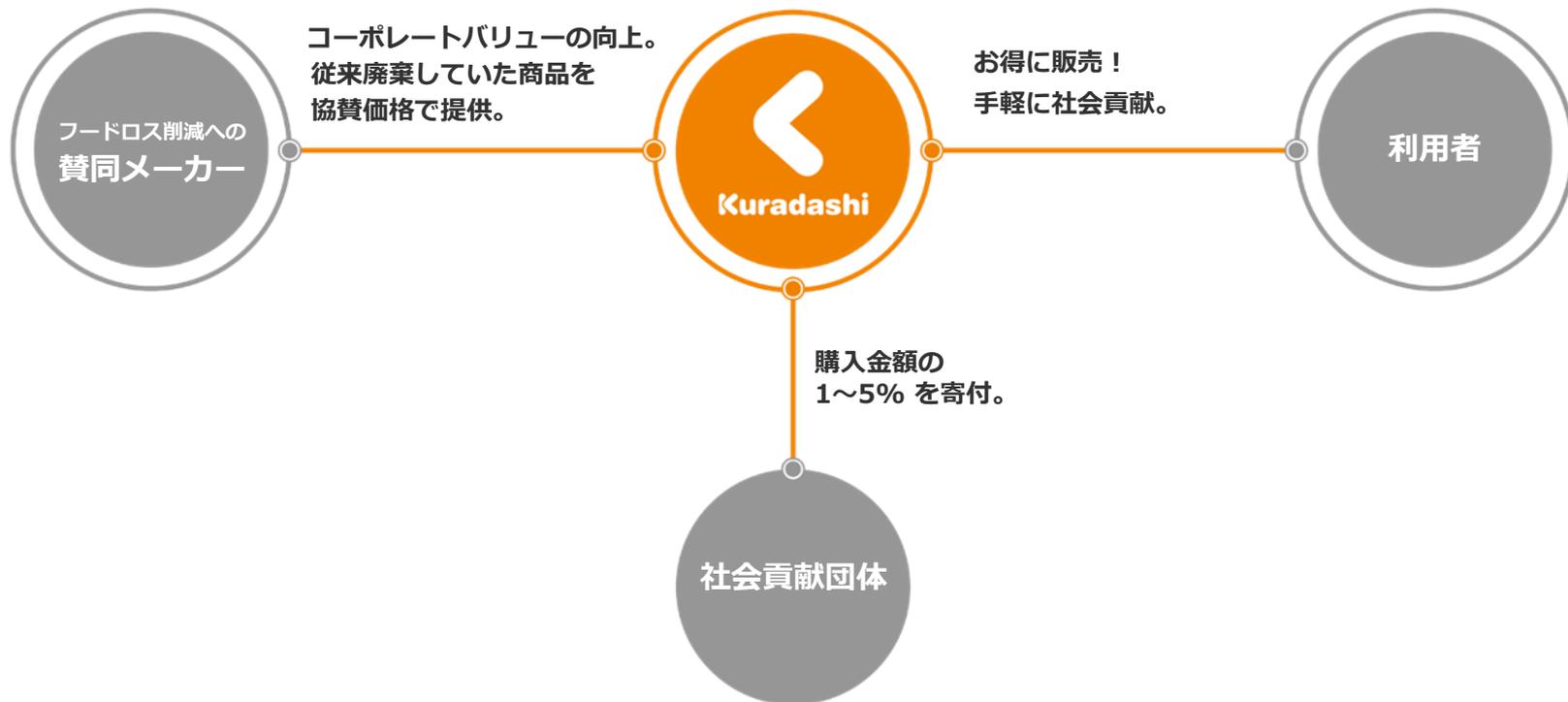
さらに、売上の一部を環境保護・災害支援などに取り組む様々な団体に寄付し、SDGs17の項目を横断して支援しています。



サービス概要

● クラダシのビジネスモデル

社会的、環境的、経済的に優れた「みんなトクする」ビジネスモデル



実際の商品の掲載イメージ



KURADASHI 出品のワケ
賞味期限が近いため通常の販路で販売できず、フードロスになる可能性があります。

DyDo × ヘルシア
内臓脂肪を減らす 茶カテキンの働き **NEW**

DyDo × ヘルシア 「The Burning」 250ml × 90本

3,420円(税込)
1本あたり 38円 参考価格 171.70円

支援金額 34円
※商品価格に含まれます

81% OFF

支援先団体
クラダシ基金

※支援団体が変更できます。

個数
1

※購入セット数によって送料が変更となります。

カートに入れる

販売期限 2022/08/24 23:59

発送予定 ※発送日は6月22日以降を予定しております。
※6月22日以降のご注文分は、賞味期限内かつ、ご注文日から原則5日以内（土日祝を除く）に発送いたします。

- ご購入後のキャンセルは原則お受けできません。（キャンセル及び返品・交換については[こちら](#)）
- 商品情報（内容量・原材料・原産国など）は、メーカーの都合等により変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

- **商品画像・テキスト作成**

⇒ 貴社に極力お手間を掛けないう、弊社デザイナーにて作成しています。

- **出品のワケ**

⇒ ブランド・価格保持のため、会員ユーザーに出品理由を訴求し、共感いただいています。

- **支援金額**

⇒ 購入金額の1~5%が支援額になります。支援先は会員ユーザーご自身で選択できます。

- **特記事項**

⇒ 箱つぶれやラベル相違なども商品ページに記載した上で取り扱い実施しております。

● パートナー企業の声

パートナー企業数

1200社

*2022/12時点

「食品業界にとって革新的なサービスです」

フードロスとは環境問題であると同時に、私たち食品メーカーにとっても喫緊の課題です。Kuradashiに出品することで、これまでコストをかけて廃棄していた商品がマッチングされフードロスの削減に繋がる点は大きな魅力です。購入された一部が社会貢献につながることは、商品のブランドイメージを守る事にもつながり大きなメリットです。

取引メーカー一例



● クラダシの成長

会員数（累計）



※2022年12月時点

H.F様・40代



「自分の社会貢献度が
わかるからうれしい」

以前から社会貢献には興味がありましたが、自分一人では何をしたらよいのかわからず、具体的な行動は起こせずにいました。SNSでつながっている同級生にKuradashiを紹介され、気軽に社会貢献ができるということを知って利用をはじめました。Kuradashiは数値で社会貢献度を示してくれるので実感がわきますしなによりも気軽にできるのが素敵です。

E.H様・60代

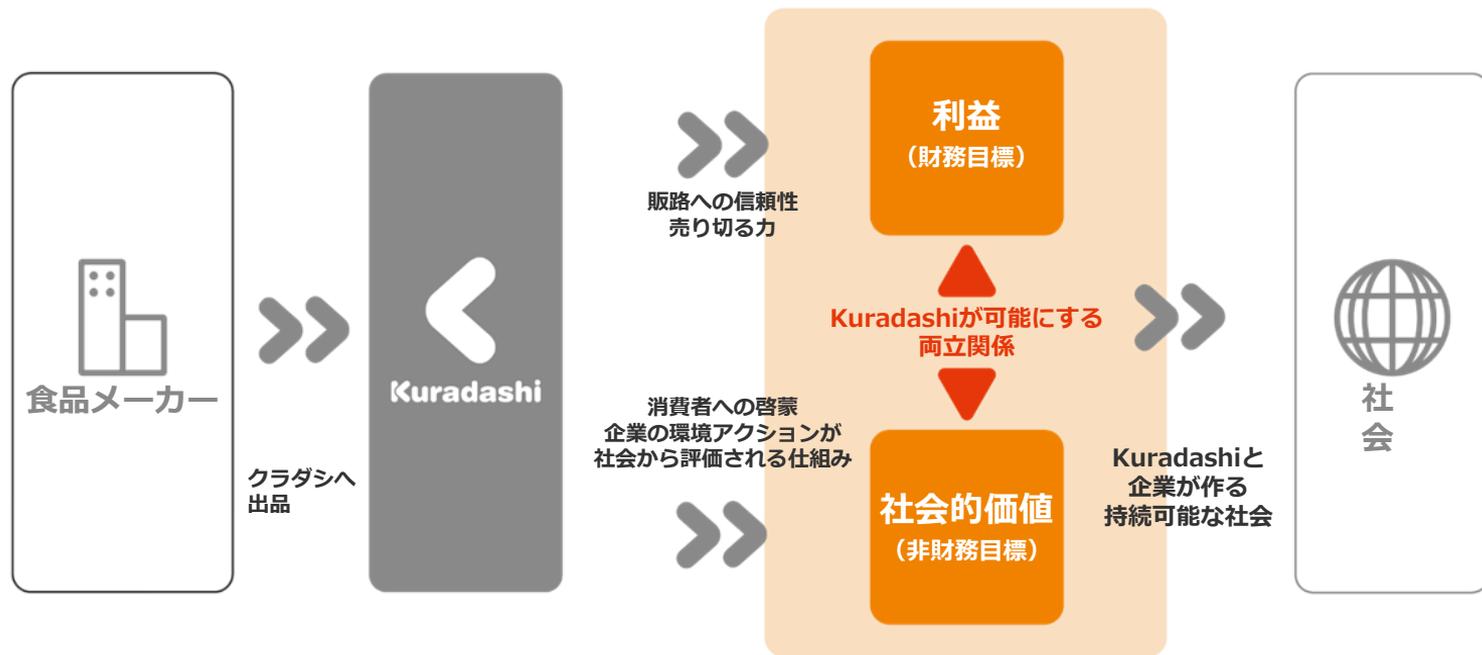


「地域の皆さんとの
シェアを楽しんでいます」

普段から養護施設やこども食堂などのコミュニティに参加する機会が多く、そうした施設の方々にお裾分けしています。フードロスという社会問題は施設内でも話題に上がることがあって冷凍食品やお菓子などをシェアすると大変喜んでいただけます。お買い物の延長が社会貢献につながる、これからも続けて行きたいと思います。

● クラダシの社会ニーズ

利益と社会価値を両立させることができる貴重なビジネス。



● お取引の流れ

やっていただくことは**3**つだけ。



商品状況の提供



商品のクラダシ
倉庫への配送



請求書発行

Kuradashi